



コンフィギュレーション ロールバック変更確認

コンフィギュレーションロールバック変更確認機能により、コンフィギュレーション変更の実行に際して確認を要求するようオプションで設定できます。この確認が受信できない場合、コンフィギュレーションは変更が適用される前の状態に戻されます。このメカニズムは、ネットワーク デバイスとユーザまたは管理アプリケーションとの接続において、コンフィギュレーション変更起因する切断を防止するものです。

- [機能情報の確認 \(1 ページ\)](#)
- [コンフィギュレーション ロールバック変更確認について \(2 ページ\)](#)
- [コンフィギュレーション ロールバック変更確認の設定方法 \(2 ページ\)](#)
- [コンフィギュレーション ロールバック変更確認の設定例 \(5 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(5 ページ\)](#)
- [コンフィギュレーション ロールバック変更確認の機能情報 \(6 ページ\)](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報および警告については、「[Bug Search Tool](#)」およびご使用のプラットフォームおよびソフトウェア リリースのリリース ノートを参照してください。このモジュールで説明される機能に関する情報、および各機能がサポートされるリリースの一覧については、機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、[Cisco Feature Navigator](#) を使用します。[Cisco Feature Navigator](#) にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。[Cisco.com](#) のアカウントは必要ありません。

コンフィギュレーションロールバック変更確認について

コンフィギュレーション ロールバック変更確認の操作

コンフィギュレーションロールバック変更確認機能は、コンフィギュレーションの変更の確認条件を追加できる機能です。この機能により、要求された変更の確認が設定済みの時間枠以内に受信されない場合にロールバックを行うことができます。コマンドの失敗を、コンフィギュレーションのロールバックをトリガーするように設定することもできます。

次に、このプロセスを実施するための手順の概要を示します。

1. 新しいオプションを使用すると、コンフィギュレーションの変更の確認を要求できます（確認の時間制限を指定する必要があります）。
2. 確認コマンドを入力する必要があります。要求された制限時間内に確認を入力しないと、コンフィギュレーションは以前の状態に戻ります。

コンフィギュレーションロールバック変更確認の設定方法

コンフィギュレーションの置換またはコンフィギュレーションのロールバック操作の確認を伴う実行

現在の実行コンフィギュレーション ファイルを保存済みのシスコのコンフィギュレーション ファイルに置換するには、次のタスクを実行します。



- (注) この手順の前に、コンフィギュレーションアーカイブを設定しておく必要があります。手順の詳細については、『コンフィギュレーションファイルの管理コンフィギュレーションガイド』の「コンフィギュレーションアーカイブの特性の設定」モジュールを参照してください。次に、現在の実行コンフィギュレーションで問題が生じた場合に、アーカイブしておいたコンフィギュレーションに戻す手順の詳細を示します。

手順の概要

1. `enable`
2. `configure replace target-url [nolock] [list] [force] [ignorecase] [revert trigger [error] [timer minutes] | time minutes]`
3. `configure revert {now | timer {minutes | idle minutes}}`
4. `configure confirm`

5. exit

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<p>enable</p> <p>例 :</p> <pre>Device> enable</pre>	<p>特権 EXEC モードをイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> パスワードを入力します (要求された場合)。
ステップ 2	<p>configure replace <i>target-url</i> [nolock] [list] [force] [ignorecase] [revert trigger [error] [timer <i>minutes</i>] time <i>minutes</i>]</p> <p>例 :</p> <pre>Device# configure replace bootflash:myconfig-1 list time 30</pre>	<p>現在の実行コンフィギュレーションファイルを保存済みのコンフィギュレーションファイルに置換します。</p> <ul style="list-style-type: none"> target-url : archive config コマンドで作成されたコンフィギュレーションファイルなど、現在の実行コンフィギュレーションを置き換える、保存済みのコンフィギュレーションファイルの URL を指定します (シスコのファイルシステムでアクセス可能なもの)。ハードウェアプラットフォームによって、ファイルシステムの名前は、例に示しているものとは異なる可能性があります。 nolock : コンフィギュレーション置換操作中に他のユーザが実行コンフィギュレーションを変更しないように実行コンフィギュレーションファイルをロックする機能をオフにします。 list : コンフィギュレーション置換動作のパスごとに、シスコのソフトウェアパーサーによって適用されるコマンドラインのリストを表示します。実行されたパスの総数も表示されます。 force : 現在の実行コンフィギュレーションファイルと指定した保存済みコンフィギュレーションファイルの交換を確認なしで実行します。 ignorecase : コンフィギュレーションに確認コマンドの大文字と小文字の区別を無視させることができます。 time <i>minutes</i> : 現在の実行コンフィギュレーションファイルの置換確認のために configure confirm コマンドを入力しなければならない制限時間 (分単位) を指定します。 configure confirm コマンドが指定の制限時間内に入力されない場合、コンフィギュレーション置換操作

	コマンドまたはアクション	目的
		<p>は自動的に戻されます（つまり、現在の実行コンフィギュレーションファイルが configure replace コマンド入力以前のコンフィギュレーション状態へと回復されます）。</p> <ul style="list-style-type: none"> • revert trigger : 元のコンフィギュレーションへ戻すトリガーを次の内容から設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • error : エラー時に元のコンフィギュレーションに戻します。 • timer minutes : 指定した時間が過ぎると元のコンフィギュレーションに戻します。
<p>ステップ 3</p>	<p>configure revert {now timer {minutes idle minutes}}</p> <p>例 :</p> <pre>Device# configure revert now</pre>	<p>(任意) 時間指定ロールバックをキャンセルしてロールバックを即時トリガーするか、または時間指定ロールバックのパラメータをリセットします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • now : ロールバックをただちにトリガーします。 • timer : コンフィギュレーションを元に戻すタイマーをリセットします。 <ul style="list-style-type: none"> • 元に戻す時間を分単位で新たに指定するには、<i>minutes</i> 引数を timer キーワードとともに使用します。 • 保存されたコンフィギュレーションに戻すまでに、操作が行われないアイドル時間を最大どれほど長く許容できるかを設定するには、分単位の時間とともに idle キーワードを使用します。
<p>ステップ 4</p>	<p>configure confirm</p> <p>例 :</p> <pre>Device# configure confirm</pre>	<p>(任意) 現在の実行コンフィギュレーションファイルが保存済みのコンフィギュレーションファイルに置換されることを確認します。</p> <p>(注) このコマンドは、configure replace コマンドの time minutes キーワードおよび引数が指定されている場合にのみ使用してください。</p>
<p>ステップ 5</p>	<p>exit</p> <p>例 :</p> <pre>Device# exit</pre>	<p>ユーザ EXEC モードに戻ります。</p>

コンフィギュレーションロールバック変更確認の設定例

例：configure confirm コマンドを使用したコンフィギュレーション置換操作の実行

次に、**configure replace** コマンドを **time minutes** キーワードおよび引数とともに使用する例を示します。現在の実行コンフィギュレーションファイルの置換を実行するには、指定の制限時間内に **configure confirm** コマンドを入力する必要があります。**configure confirm** コマンドが指定の制限時間内に入力されない場合、コンフィギュレーション置換操作は自動的に戻されます（つまり、現在の実行コンフィギュレーションファイルが **configure replace** コマンド入力以前のコンフィギュレーション状態へと回復されます）。

```
Device# configure replace nvram:startup-config time 120
This will apply all necessary additions and deletions
to replace the current running configuration with the
contents of the specified configuration file, which is
assumed to be a complete configuration, not a partial
configuration. Enter Y if you are sure you want to proceed. ? [no]: Y
Total number of passes: 1
Rollback Done
Device# configure confirm
```

次に、**configure revert** コマンドを **timer** キーワードとともに使用する例を示します。時間指定ロールバックをキャンセルしてロールバックを即時トリガーする、または時間指定ロールバックのパラメータをリセットするには、**configure revert** コマンドを入力する必要があります。

```
Device# configure revert timer 100
```

その他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
Cisco IOS コマンド	『Cisco IOS Master Command List, All Releases』
コンフィギュレーションファイルの管理についての情報	『コンフィギュレーションファイルの管理コンフィギュレーションガイド』の「コンフィギュレーションファイルの管理」モジュール
コンフィギュレーションファイルを管理するためのコマンド	『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>★枠で囲まれた Technical Assistance の場合★右の URL にアクセスして、シスコのテクニカルサポートを最大限に活用してください。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</p>

コンフィギュレーションロールバック変更確認の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレーンで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェアリリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1:コンフィギュレーションロールバック変更確認の機能情報

機能名	リリース	機能情報
コンフィギュレーションロールバック変更確認	12.2(33)SB 12.2(33)SRC 12.2(33)SXI 12.4(20)T Cisco IOS XE Release 2.1	<p>コンフィギュレーションロールバック変更確認機能により、コンフィギュレーション変更の実行に際して確認を要求するようオプションで設定できます。</p> <p>このメカニズムは、ネットワークデバイスとユーザまたは管理アプリケーションとの接続に、誤ったコンフィギュレーション変更に起因する切断を防止するものです。</p> <p>次のコマンドが導入または変更されました。configure confirm、configure replace、configure revert、configure terminal</p>

